

# 令和5年度 東京都立農産高等学校（定時制課程）学校経営報告

東京都立農産高等学校長

江森 忍

## 1 学習指導の充実

各教員が、生徒一人一人を大切にした授業と生徒の学習状況や発達段階に対応したきめ細やかな指導を行った。特に、基礎学力の定着については、始業前の午後4時から、日本語指導が必要な生徒や個別の教科学習が必要な生徒に指導する体制を構築し、日本語指導員や学習指導員を配置して、継続的に指導に取り組んだ。また、「授業規律」を徹底するため、学級担任・学年と各教科担任・各分掌が緊密な連携を図り、生徒の授業を受ける姿勢の改善に努めた。

専門学科の学習内容に関連する検定については、対策講座や土曜講習会を開催して、検定を受検する生徒を支援した。農業技術検定は3級8名、2級1名、造園技能検定は2級1名が合格し、食品衛生責任者講習を4名が修了した。また、定時制農場の東京都GAPの取組は、令和6年3月に審査を終え、認証を受けた。その他、実用英語技能検定準1級に1名合格した。

学期末等に授業評価アンケートを実施し、授業改善に役立てている。今後、さらに分かりやすい授業作りや工夫した指導をさらに推進することが重要である。

## 2 生活指導の充実

- (1) 担任連絡会を実施し、支援等を必要とする生徒に関して情報共有し、具体的な対応を検討した。
- (2) 年間の延べ遅刻数は、令和5年度は1128回であり、昨年度より27%減少した。
- (3) 卒業生において1年間精勤生徒は2名であった。在校生においては1年間皆勤6名、精勤5名であった。
- (4) 生活指導については、SC、YSWなどの教育相談や外部機関（子ども家庭支援センター、児童相談所等）と連携して、個々の生徒の状況に合わせた課題解決的な指導を行った。
- (5) 次年度以降も、生徒との対話を丁寧に行いながら、さらなる改善を進めていく。

## 3 進路指導の充実

- (1) 令和5年度の卒業生は、4年制11名、3修制2名の合計13名である。卒業生の進路先としては、就職した生徒が9名、進学した生徒が2名であった。
- (2) 進路指導については、生徒の希望達成率は100%であった。
- (3) 進路決定を確実にするために、組織的に進路指導を行った。特に、計画的な進路ガイダンス（就職、進学した卒業生による講演会、面接指導、論文指導等）を推進した。また、大学の指定校も獲得し、生徒の進路決定に役立った。

## 4 特別活動の充実

今年度は、日比谷公園ガーデニングショー、世界ラン展へ出展することができた。日比谷ガーデニングショーでは、コンテナガーデン部門において東京都知事賞を受賞し、世界ラン展では、フラワーデザイン部門で学生奨励賞を受賞した。また、世田谷スイーツアンドブレッドコンテスト和菓子部門に1名の生徒が参加し、金賞を受賞した。

今後も、園芸部、創作造形部等の農業系部活動の活動を継承し、生徒たちの自信につなげていく必要がある。また、寄せ植えコンテストや創作活動等について年間を通じて計画的に実施することができた。さらに、農業クラブ活動に積極的に参加するよう指導し、意見発表会、全国大会へ出場した。

地域連携に関しては、野菜や鉢植えの販売をはじめ、上野恩賜公園開園150周年総合文化祭、葛飾産業フェア等に参加した。地域連携は、生徒の成長を促す貴重な機会であることから、積極的に行っていきたい。

農産祭では、学年ごとに生徒の様々な創意と工夫のある取組を行い、充実した内容であった。また、球技大会を実施した。

今年度、普通救命講習を実施し、15名が受講した上で、防災意識を高めることができた。

部活動加入率は106%で、主に放課後の時間を活用して積極的に活動している。

## 5 心と身体の健康の増進

YSW、特別支援教育心理士、SCや外部機関（児童相談所、子ども家庭支援センター、保護施設等）と連携し、組織的な教育相談活動を実施している。個別に支援が必要な案件については、ケース会議を開き、一人一人の生徒状況に応じた支援を行った。

## 6 学校経営

- (1) 募集活動として、学校説明会、体験入学、入試問題説明会等を実施した。SNSを活用して、農場の活動や給食の紹介を更新するとともに、農場の風景や創作作品の紹介を行っている。学校説明会等に参加した中学生等には本校の教育活動についての理解を得ることができた（一次応募倍率0.43）。
- (2) 現在の校舎は、築40年以上が経過しているため、老朽化が進んでおり、維持管理、補修を行っている。
- (3) 全教育活動から体罰等の根絶、いじめ防止に向けた取組を行った。
- (4) いじめを防止するために、教員の指導力の向上とスクールカウンセラー等の活用等を図った。